



かみこあにむら
議会だより

みどり

第 167 号

発行 平成30年11月9日

編集 議会広報編集委員会

秋田県上小阿仁村議会

TEL 0186 (77) 2226

FAX 0186 (77) 2227



栗拾いって楽しいね

【かみこあに保育園・友生園において秋の遠足・10月3日】

9月定例会

一般会計ほか 7 会計	P 2
一般会計主要施策の成果	P 3
人事案件	P 4
審査過程における意見・要望	P 5
平成30年度補正予算	P 7
一般質問 5 氏が登壇	P 8
議会の動き	P 13
編集後記	P 14

各会計とも黒字を堅持 原案を認定・可決

平成30年第4回定例会は、9月3日から13日まで11日間の会期で開催しました。

一般質問は5人が登壇し、「診療所の健全運営」「各公民館のトイレ改修」「移住・定住対策」「若者の雇用支援」など8項目について問いました。

本会議の初日には、上小阿仁橋撤去工事請負契約の締結を全会一致で可決。平成29年度各会計決算など15案件を審議し、原案のとおり認定・可決しました。

また最終日の本会議には人事案件1件が提案され、人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて適任としました。

◆決算の概要◆

となりました。

前年対比では歳入123.9%、歳出125.8%で、「未来づくり協働プログラム事業」により、前年度を上回る決算額となりました。

平成29年度の一般会計決算は、歳入31億7524万円、歳出30億7453万円、翌年度へ繰り越す財源を除いた実質収支額は9124万1千円の黒字決算となりました。

決算規模を前年度と比較すると、歳入では6億11億2973万円と共に増額70万9千円、歳出では6億2210万7千円で、歳入総額の51.1%、

◆財政運営の状況◆

経常的収入のうち一般財源は15億1915万1千円で、歳出総額に占める割合は49.4%となっています。

前年度より8499万8千円の減となっております。その主なるものは、地方交付税の減額によるものであります。

経常的な歳出のうち、一般財源は15億1915万1千円で、歳出総額に占める割合は49.4%となっています。



初日の本会議

平成29年度 上小阿仁村各会計歳入歳出決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額	繰越財源	実質収支額
一般会計	31億7524万円	30億7453万円	1億71万円	946万9千円	9124万1千円
特別会計	13億2281万9千円	12億9248万1千円	3033万8千円	0円	3033万8千円
国民健康保険事業	4億3704万5千円	4億3698万8千円	5万7千円	0円	5万7千円
国民健康保険診療施設	1億841万円	1億841万円	0円	0円	0円
簡易水道事業	8027万8千円	7737万5千円	290万3千円	0円	290万3千円
農業集落排水事業	6534万4千円	6258万2千円	276万2千円	0円	276万2千円
下水道事業	4683万4千円	4265万2千円	418万2千円	0円	418万2千円
介護保険事業	5億4677万3千円	5億2633万9千円	2043万4千円	0円	2043万4千円
後期高齢者医療	3813万5千円	3813万5千円	0円	0円	0円
合計	44億9805万9千円	43億6701万1千円	1億3104万8千円	946万9千円	1億2157万9千円

平成29年度 一般会計決算

主要施策の成果

総務費

●秋田県町村共同電算化事業

4135万7千円

秋田県内全12町村加入による共同電算システムの運用を図った。

●集落振興交付金

298万円

村民と村の協働による地域社会の形成と集落の振興を図るため交付した。

●生活バス路線維持費

1580万9千円

生活路線バスの赤字対策として補助し、バス運行の維持に努めた。



今年度は9月30日に閉幕。作家によるリレートークが行われたクロージングイベント

衛生費

●塵芥処理事業

729万5千円

ごみ処理を北秋田市クリ

に応じて負担した。

北秋田市周辺衛生施設組合に対し、人口・搬入割合に応じて負担した。

●し尿処理事業

598万7千円

消費税引き上げに伴い、国の暫定的・臨時的な措置として、769人に一人あたり15000円を支給した。

民生費

●北秋田市クリーンリサイクルセンターへ委託した。

北秋田市クリーンリサイクルセンター建設費負担金

2億762万2千円

計画処理量の割合に応じて負担した。

付金

1001万7千円

中山間地域等直接支払交付金

●多面的機能支払交付金

1178万3千円

共同活動を通じ、各集落の農地・農業用水等の資源や農村環境の保全を図った。

●中山間地域等直接支払交付金

1001万7千円

中山間地域における生産条件の不利な団地の農地に対して、収益の向上や環境整備を図る目的で交付され

決算審査報告

税負担の公平性 滞納額の対応強化を求める

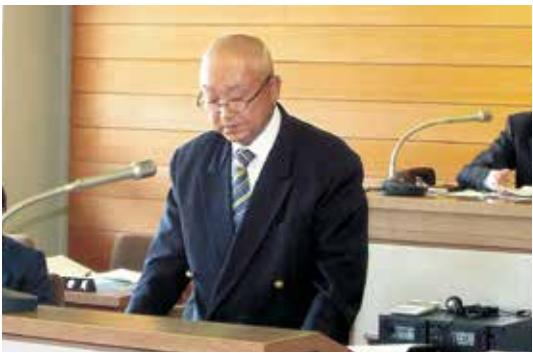
一般会計及び特別会計を通じ、その計数には誤りはなく、証拠書類は適切に処理され妥当と認められた。

滞納者は村税、国保税、住宅使用料、農業集落排水使用料、介護保険料とも、長年にわたり固定化しているので、その対策を至急講じていただきたい。

経費の節減は勿論のこと行政の簡素化、効率化に努め、将来を展望した計画的な行財政運営によって、健全な財政の維持確立を図られることを望みます。

(審査の総評より抜粋)

監査委員 鈴木 孝明
伊藤 秀明



監査報告する鈴木代表監査委員

●元気な中山間農業応援事業（中山間資源を活かす生産体制整備事業農業集落排水事業）

149万2千円
地域特産物等の生産体制の強化に必要な機械等の導入を支援した。

人権擁護委員に清水博司氏

任期満了に伴う人権擁護委員の推薦については、議長を除く7人で無記名投票を行った結果、全会一致で適任としました。



清水 博司 氏
(昭和27年6月27日生)

の方針を策定した。

業（中山間資源を活かす生産体制整備事業農業集落排水事業）

149万2千円
理費 2012万7千円
(生産物売扱収入234万7千円)
務委託料 195万4千円
地域林政アドバイザービ

野外生産試作センター管理費 2012万7千円
(生産物売扱収入234万7千円)
務委託料 195万4千円
地域林政アドバイザービ

●プレミアム付商品券発行
商工会が発行する商品券のプレミアム分10%を補助した。

土木費

●除雪委託料 5671万円
冬期間の交通確保のため、生活道路を中心にして107路線、45・2kmを実施した。

教育費

●社会資本整備総合交付金事業(菊桜岱橋補修工事) 2315万円
(国費2128万円)

●高校生海外研修事業 343万6千円
期 間 平成29年8月2日～8日
・研修先 アメリカ合衆国 ワシントン州 シアトル市
・参加者 高校生4名 引率2名

●住宅リフォーム緊急支援事業（工事費の10%、県は12万円、村は20万円を限度として補助）

●申請件数 15件
・事業費 2395万円
・県補助金 155万円
・村補助金 220万円

消防費

●北秋田市への消防事務委託 1億32万5千円

●トレーニングセンター照明器具改修工事 614万7千円
照明器具をLED化に更新した。

●生涯学習センター冷温水機・エアコン取替工事 309万9千円
視聴覚室と音楽室にエアコンを整備した。

●公共土木施設災害復旧工事 313万2千円
豪雨により損傷した五反沢川（山ふじ温泉）を原状回復した。

災害復旧費

●小中学校工アコン設置工事 387万7千円



国際交流員であったミッシェルさん宅へホームステイ

年度別不納欠損額の状況

区分	年度	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度
村民税 ①		21.2万円	18.5万円	32.3万円	34.8万円	33.4万円
固定資産税 ②		101.8万円	97.1万円	113.5万円	71.5万円	132.2万円
軽自動車税 ③		1.1万円	3.3万円	1万円	3.7万円	3.8万円
村税計①+②+③		124.1万円	118.9万円	146.8万円	110万円	169.4万円
国民健康保険税		80.6万円	14.9万円	163.5万円	78.3万円	223.6万円

常任委員会付託議案

法的手段も含め 具体策の強化を求める

総務産業常任委員会に付託された議案について、9月4日から6日間審査を行い、12日には審査過程における意見・要望に対する質疑応答を行いました。

意見等の要旨は、次のとあります。



本会議最終日の委員長報告

▼回答 野外生産試作センターの作業については、年度計画により進めております。

土地の貸付更新について、農協合併の状況を勘案して協議を進めてまいります。なお、臭い等の対応については、環境保全協定書に基づいて文書により対応を求めてまいります。



野外生産試作センターを視察

キヤンプ場・産業祭などとかかわりを以つて進めるべきである。

今回、村民参加型の商品はレシピを村民に公開して、村民の収入増加に繋がる事を期待していたにも関わらず、未だ実施されていないため、早期に成果が上がるよう努めるべきである。

▼回答

野外生産試作センターやの作業については、年

度計画により進めておりま

決算認定議案に

対する意見要望

不納欠損処分と 未収金対策

▼意見

定例会の都度、対策を強く要望してきているが、欠損・未納が解消されず、義務である納税・料金等の未納が嵩み、公平性が保たれていない。(不納欠損額約124万円、滞納繰越額3290万円)

法的手段も含め、具体的な対策を強化し、関係課連携のもとで解消に最大限努力されたい。

▼回答 不納欠損につきましては、法令に基づき実施しているものであります。

納税している方との公平性の観点からも、担税力のある方からの徴収に努めてまいります。

未収金につきましては、

債権管理検討委員会を開催し、滞納状況や財産の状況、未収金の回収方法等について協議しており、各課連携しての臨戸徴収のほか、預金の差押え等、可能なところから取り組みを進めております。

今後も債権者の財産等の状況把握に努め、預金や給与の差押え等、滞納整理を進めてまいります。

野外生産試作センター 関係

野外生産試作センター

▼意見

毎年のように指摘しているが同センターには正規職員2名をはじめ、研究者・研修生など多くの関係者が勤務する中で、なかなか全体像が見えて来ない。

果たして直接、農家の所得向上に繋がっているのか

観光関係

野外生産試作センターを視察

▼意見

地域連携D.M.O形成事業については、今後さ

込んで村の春夏秋冬のイベント(万灯火・山野草展示会・かみプロ・萩形ダムや

事に留まらず、村の観光スポットを幅広く紹介して訪村者が増えるよう、事業化を図つてまいります。

特産品開発の商品レシピは産業祭で公開実演を計画しております。

各種団体の助成と 指定管理委託料

各種団体の助成

▼意見

各種団体の補助金・助成金関係については、村の定着した行事と各イベント等に積極的に参加している団体、伝統文化を継承する保存会、さらには近年、各集落において会員が減少し会費の値上げが危惧されるなかで、公民館の分館管理費の助成については、全集落を対象とするべきである。団体・集落に対しての

指定管理委託料などについては、実績に基づいて更新すべきである。

▼回答 事業の実績や実態等を確認しそれに基づいて対応してまいります。

各集落の公民館の維持管理につきましては、中茂・

八木沢集落は、分校であつた経緯により管理を委託しております。他の公民館においては、公民館の補修費補助での助成となつておりますが、今回の一般質問もありましたように公民館の二ーズも変化しており、各集落の状況を精査し改正を検討してまいります。

また、指定管理委託料につきましては、実績を考慮しながら進めてまいります。

すぐ、今後は、担当課で発注するべきである。建物は完成したが、利用するにあたつて構造に一部不備が見られる。早急に改善きであり、発注については、業者育成や村経済を支えるために現在の村にあつた条例に見直し、少しでも多くの村内業者が入札に入れるようすべきである。

が集い交流する拠点として、建物は完成したが、利用するにあたつて構造に一部不備が見られる。早急に改善強化し、秋田県市町村未来づくり協働プログラムの目的に沿う企画と利用促進を図るべきである。

が最優先に、今回の定年条例の事を踏まえて、出張、休診、診療体制など経営の向上について協議してまいります。

かみこあにプロジェクト 2017事業

補正予算議案に対する意見要望



中学生も出演した八木沢番楽
(かみプロ2018・伝統芸能競演)

▼回答 交流人口の増加と村の活性化に繋がる事を期待しての事業ではあるが、集客数にも陰りが見える。今後、各集落と村民を巻き込んだ企画運営の見直しが必要である。

▼回答 村民参加については、集落会長に対しても、集落での作品展示の希望をお聞かせください。

▼回答 総務管理費の費用弁償は、行政協力員の視察研修に係る96万円が計上されました。行政協力員は、各集落の会長であり住民減少の中で諸問題に誠意努力されていると理解しているが、本来であれば計画をもつて当初予算に計上すべきである。

▼回答 行政協力員については、日頃から誠意努力していただいているが、有意義な先進地研修をするべきと考えますが、当初計画が具体的ではありませんでした。今後は、当初予算の段階で具体的な計画をたて、実施いたします。

集住型宿泊交流拠点施設(コアーニティー)の管理運営と利用促進

▼意見 多様な世代の人々

入札関係

▼意見 コミュニティセンターと福祉センターのボイラー設備工事発注について、担当課が違うにもかかわらず一方の課で両方の発注がされ、コミュニティセンターについては予定価格を超えて、他の工事の残金を流用し契約がなされている。予算執行から見て正規ではない

点があるとすれば随時見直しをかけると同時に、適切な発注業務に努めてまいります。

診療所の運営

▼意見 医師の出張が増え、診療休診が増えている。村民の健康維持に必要な機関なので、健全な診療体制の維持と経営の向上に努力されたい。

しかし、施設の使用状況等、個々に事情が異なる場合については工程の調整が難しいなどの状況も考えられます。このような状況が発生しないよう発注段階で考慮してまいります。

コアーニティーの利用促進に向けては、当初計画にあつた武藏野大学生の研修やイングリッシュユキャンプに加え、新規の事業等の掘り起しを行いながら利用促進に努めています。

きしましたが、準備期間が短かかつたり、実現に至りませんでした。次年度も開催となつた場合は、実施にむけて取り組みたいと考えております。

が最優先に、今回の定年条例の事を踏まえて、出張、休診、診療体制など経営の向上について協議してまいります。

かみこあにプロジェクト 2017事業

災害復旧関連予算を計上 全会一致で可決

平成30年度一般会計補正予算は、災害復旧関連予算など、総額8895万3千円を追加し、補正後の総額は23億8553万円になりました。歳出の主な内容は、次のとおりです。

一般会計

財政調整基金積立金

7078万円

地域連携DMO形成事業 費追加分

191万5千円

農地農業用施設災害復旧工事費

419万6千円
5月18日の豪雨災害で、農地1件、農業用施設（水路）1件の復旧工事です。

村道補修工事費

150万円

大館市、北秋田市、小坂町との連携による観光地域づくりの施策。総事業費の2%を負担するものです。

公共土木施設災害復旧工事費

471万8千円

内容は、伝統芸能などで誘客を図る「観光用予約システム」「タクシーアップシステム」の構築です。

国道)復旧工事です。(南沢の旧

特別会計

特別会計補正予算は、5つの特別会計で総額3604万9千円を追加。補正後の総額を12億61万円となりました。



8月16日の大雨による災害現場を視察
(五反沢字芹田)

陳情2件

9月定例会では、2件の陳情を審査しました。

条例改正・契約関係

2議案

◆「食糧の安全・安心を図るために農産物検査法及び食品表示法の抜本的見直しが必要です」

【意見書提出先】
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、農林水産大臣、消費者庁長官

◆職員の定年等に関する条例の一部改正

医師の定年を80歳から83歳に引き上げるものですが。

平成30年度上小阿仁橋撤去工事請負契約の締結入札不調による随意契約で、秋田土建株式会社(北秋田市)と9504万円で契約を締結するものです。

意見書2件送付

各陳情の採択に伴う意見書2件を議員発議し、本会議で可決。関係機関に意見書を送付しました。

◆消費税増税10%引上げ中止を求める意見書提出の陳情

【提出者】
秋田県商工団体連合会
会長 小玉 正憲

◆消費税増税10%引上げ中止を求める意見書
【意見書提出先】
内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣

◆食糧の安全・安心を図るために農産物検査法及び食品表示法の抜本的な見直しを求める意見書

【提出者】
会 代表 今野 茂樹

生き物共生農業を進める美しい八郎湖を次代に残す会 代表 桑原 秀夫
(有)ライスランド大潟 代表 山田 隆介